

草せそく は草のた

これらと見て

その子た うつてい

宇真木 ぼけていて はりきり つかうそん

木 山自分のふ子うらしい

その事跡所にいる

そこでは 父が うりまおし と言うて

くれていよる

とろれしそく

娘が スターレとして びくわれののた

このしちの採子

取木子か スターレにるる かりて

これしそく 手ふれていよる たうた

うらむと方は男性

母親は すがにいな

兄弟いそい

一人子のほつちやんが ちかのゆて

九十ニちの文親と三人くらし

日々が 重活をいしんでい

書をとりかえ つかうてをばう

あきあき (う) 目を工夫していい

父親とあんでいゝのて

年よりかよく少か

見よかろ 心とつていゝの行動が

いゝしえろ

二人を見せ

いゝし金取を 自分とつていい

見せりだすで

私もいゝしくるる

2024
11/19